

2012.8.29

2012.08.29

きのう東京に到着した。これから一年間楽しく過ごしたい。頑張る。

これは日本語で投稿されたものです

2012.8.30

2012.08.31

今日は面談をしました。面談では先生に鹿児島ホストファミリーのことを伝えてもらいました。その家族は五期生から今まで毎年も留学生を招待していました。きっと中国人の生徒の考え方をよく理解できると思います。面談の最後に、先生と「ワンピース」というアニメをめぐって相談しました。私は小学六年生のときから今でも「ワンピース」が好きで、先生もそのアニメが大好きということを知りました。本当に人気がありますね。

明日は学校の先生に会うことができます。期待しています。

これは日本語で投稿されたものです

鹿児島に来てからのこと

2012.09.04

家ではネットが使えないよォ。日記だってなかなか書けない。。

えーと、ホストファミリーはみんないい人です。お姉さんは、いろいろなところに連れて行ってくれます。人気のお店に行ったり、温泉にはいたり、毎日がすごく充実しています。

外国人登録証明書の手続きや銀行口座の開設など、本当にお父さんにはお手数おかけしました。

お母さんとお姉さんは、毎日すごくおいしいご飯を作ってくれます。日本料理は大丈夫かなって思っていたのに、それどころかなんでもおいしくて。

それと、かわいい弟も一人います。脚が不自由だけれど、毎日元気いっぱい。もう可愛くて、かわいくて。

明日から学校です。みんなから学校は楽しいよって聞いているので、楽しみです。

がんばるぞ。

王丹妮さんの日記

お久しぶりです

2012.12.22

ほんとに長い間日記書いてなくてごめんなさい。

全旅程の11分の4が過ぎたわけだけど、今振り返ってみるとスタート地点の赤い旗がもう既に見えなくなっている。時間が過ぎるのはほんとに早いね。

【9月】

ここに来て一日目、早速温泉に行った。そしてその後これまで食べた中で一番美味しいラーメンを食べた。実のところどんな味だったかはもう覚えてないんだけど、ただすごく美味しかったことだけは覚えてる。おそらく当時のわたしは「中華一番！」に出てくる料理を食べた人と同じような気持ちだったんじゃないかな……

ホストファミリーの家族は想像してたよりも多かった。しかも2歳の可愛いちびっこちゃんもいるんだよ。わたしのTシャツに描かれているルフィを見る度に“ワンピース！ワンピース！”って指差しながら言うの。すごい頭のいい子なんだ。まだたったの2歳だけど自分のことはなんでも自分で出来るし、もしかしたら天才ちびっこなのかも。

登校初日から早速体育祭の準備。一番印象深かったのはやっぱり全校男子が上半身裸になって“エッサッサ”って応援の掛け声をしてたことかな。鹿児島って一ーすごくアツいところなんだよ。全校生徒を前にした自己紹介は大成功だった。そのおかげで校内を歩いていると色んな人から声をかけてもらえるし、またそのおかげで色んな友達とも知り合えた。みんなわたしと話をするとき大体一番興味があるのが自分の名前を中国語ではどう読むかってこと……ある日隣のクラスの女の子からお手紙を貰ったの。びっくりしたけどすごい嬉しかったよ。

通常の学校生活が始まってからは、迷わず演劇部に入った。毎日の部活動で面白い脚本がたくさん読めるんだ。既存のものもあるし、部員たちが自分で創作したものもある。

最初の連休にはこっちのクラスメイトと初めてお出かけをした。美術館に行って、加藤生久仁ってう画家の作品を見てきたんだ。どの絵もすごく感動的だったから、みんなも機会があったらぜひ見てみて。

学校の生活にもだんだん慣れてきた。バスから電車に乗り換えてそこから更に自転車に乗り換えるっていう複雑な道順でももう迷わなくなった。ホストファミリーが作ってくれたお弁当もすごく美味しく感じられてきた。そして中でも一番嬉しいのがクラスで一番仲の良い友達を2人見つけられたことだ。

【10月】

初めての定期試験。どの科目も試験時間はたった50分しかない。国語は作文を作る必要もないし、題目も以前やったことのあるものばかり。やっぱり中国の学生の方が大変なんだぁ。。

毎日図書館に行く習慣がついてきた。自習かもしくは本を借りに。図書館の先生はすごく優しいお姉さんで、頻繁に図書館内の配置を変えてる。どんなに変えても落ち着ける暖かい場所っていうことにかわりはないんだけどね。

週末はほぼ毎週出かけてる。中間が終わった週の週末は、一番仲の良い友達と一緒に、日本で初めての映画を見に行った。その後は2人でデパートをぶらぶら。特になにか買ったって分けじゃないんだけど、ただずーっとノンストップでおしゃべりしてた。自分が悩んでることとか、興味があることとか。

初めて演劇部のみんなと一緒にコンテストに出場した。今回は舞台上がることは出来なかったけど、それでも音響とかを任されてたくさんのことを学んだ。音響室で、今までテレビでしか見たことのないようなばかかしくて複雑な音響設備を操作しながら、あぁここに来たのは無駄じゃなかったんだなあってしみじみ思ったよ。

ホストファミリーに新しい家族が増えたよ。生まれてきてから満1ヶ月になった日に神社にお参り行ったんだ。すごい正式で神聖な儀式だったことにちょっと驚いた。また一つ見識が広がったよ。

ハロウィンの日はクラスメイトのみんなで自分の一番好きなお菓子を持ち寄って一緒に食べたよ。隣のクラスからもうちのハロウィンパーティーに参加する子がたくさんいた。その後“教室は勉強をするところで本来こんなにたくさんのお菓子を広げているべきではない”ってことで、みんな一斉に先生に叱られちゃったんだけど、それでもすごく楽しかったよ。

【11月】

実力試験が終わった。自分の成績に対しては比較的満足はいつてるかな。

演劇の県大会で、更にハイレベルな高校演劇を目の当たりにした。自分の一番好きな作品が優勝して、しかも九州大会にも参加することが決まったんだよ。へへ、わたしもだいぶ見る目があるってことかな。へへへ。

11月3日の文化の日に、鹿児島市で一年に一度開かれる“おはら祭り”に参加した。市の中心を通る数千メートルの街道をたくさんの人が隊を組んで民族舞踊を踊りながら練り歩く。道の両脇にはたくさん屋台が並び、きれいで美味しいお菓子がたくさん売られてた。

月末の桜島マラソンに向けて、体育の授業の内容もサッカーから長距離走の練習に切り替わった。毎回授業の最初から最後まで走りっぱなしで途中で止まっちゃいけないとかなんとかでそもそも体育が得意でないわたしからするとほんとに苦行以外の何者でもなかった。なんでも本番で時間内に走り終わらなかった場合は後で走りなおさないといけないとかなんとか。それがもう恐ろしくて毎回の授業で必死に練習したよね。しかし長距離走とかって人の意志の強さみたいなものを鍛えるのにはすごくいいなって感じた。途中でほんとにすごい苦しくて立ち止まりたくなるんだけど、それをぐっと堪えて最後まで走りきったときに自分って実はやれば出来るんだってことに気付くことが出来る。22日、その日わたしは桜島に行った。雨が降っていて、気温もすごく低かった。半袖短パンのみんなとは対照的に先生達は分厚いコートを着込んでいてすごくちぐはぐな光景だった。眼鏡のレンズの上には雨粒がびっしりついていて、走りながら眼鏡を外して道端に投げ捨ててやろうかっていう衝動に駆られるくらい……一般道路だと坂道とかでアップダウンもあるから、普段の練習よりもすごく辛かった。特に上り坂のときにはもうほんとに脚が上がらないんじゃないかって思っちゃうくらい。でも自分の周りの友達が頑張ってるのを見て、自分も絶対負けられないって思えたから、グッと奥歯を噛み締めて最後まで走りきったんだ。ゴールにたどり着いたときまだ時間が10分も残ってた。自分ほんとに良かったと思うよへへへ。

それから友達と一緒にスイーツバイキングに行ったんだ。たった一食だったのに一気に太ってしまったような感じがする……あと自分がずっと読みたかった小説も借りたし、高3の先輩からプレゼントも貰っちゃったし、席替えでは非常に満足のいく場所に移ることが出来た。すごく大きな植物園に行ったときには、ポケモンに出て来るような不思議な植物をたくさん見ることが出来た。自分でとったみかんを食べたり、お姉ちゃんの大学の文化祭に清水翔太のライブを観に行ったりもした……すごく充実した1ヶ月だった。

【12月】

先週ちょうど修学旅行が終わったばかり。あの楽しくて心満たされるような気持ちはもはや言葉じゃ言い表せないね。東京のあのリズム感のある生活ってすごい好きだなあ。なんだか毎日色んな収穫があるって感じがする。

東京についてまず向かったのが鎌倉と横浜。大仏を見て、おみくじで“吉”を引いた。それから中華街に行って久しぶりに中華料理も食べたんだ（みんななぜかすごいショーロンポーを気に入ってた……）

その後は東京に行った。東京大学を散策して、有名な宝塚劇場で劇を観た（途中休憩でトイレに行くときには10分20分待たなきゃいけないかった……）フジテレビでは自分のクラスの番組を撮って、番組の背景に参加させてもらったりした。自由行動では渋谷の109を回ったよ。ディズニーランドではクリスマス限定の花火が見れたし、東京の“スカイツリー”にも上ったんだ……

鹿児島に帰ってきて。バスの外の風景が高層ビルから永遠と連なる山々に変わっていくのを見ながら、自分はもしかしたら3泊4日の夢を見ていたのかもしれないという錯覚に陥った。もし出来ることなら、将来はずっとこの夢の中で生きていけたらいいのに。

もしみんながこの日記を目にしてくれていたら、きっとわたしは世界の終わりを無事に乗り越えたってことになるね。これからは引き続き前を向いて、もっと強くなっていかなきゃいけない。がんばろう。